

新任教員・昇任教員等紹介

新任教員

薬学部 助教
(実務薬学(実務薬学教育研究))
奥田 衣理 (おくだ えり)

薬学部 助教
(創薬化学講座(薬化学))
鈴木 桃子 (すずき ももこ)

昇任教員

薬学部 助教
(実務薬学(実務薬学教育研究))
山本 隆弘 (やまもと たかひろ)

能登半島地震災害ボランティア派遣報告

No. 1 薬学部 助教 窪田 篤人

私は、北海道薬剤師会メンバー第11陣として能登半島地震の被災地医療支援に派遣されました。

2月27日に金沢市に到着し、災害派遣活動用車両を受け取り別動隊として、1名で石川県七尾市に停泊中の自衛隊船はくおうに移動しました。引き継ぎを行い、支援物資の一般用医薬品等を整理し、被災者の方々の受け入れに加え、船員の健康相談の対応も行いました。

29日に穴水町へ移動し、現地薬局やJMATと今後の対応について情報共有。3月1日は、輪島市七浦、浦上、諸岡地区で避難所支援を行いました。

フェーズが既に終盤であったことから、医療支援のニーズが変化していました。健康相談も、急性期疾患から血圧など循環器の慢性症状に関するものや復興作業で生じた怪我に関する相談が多くなっていました。それに応じて、当初想定し準備されていた一般用医薬品では対応しきれないものもありました。

印象に残っているのは、自衛隊船で支援した珠洲の人たちの力強さです。色々なお話をする中で、必ず復興するから、今度は観光で来てねとお声がけいただきました。

薬剤師の重要な立ち位置は、扱える物品の種類が多いという点です。医療用のみならず、一般用医薬品や医薬部外品の扱いにも専門性を発揮します。加えて、薬剤師は学校環境衛生の保全など衛生管理業務も行います。従って、避難所の衛生管理や環境管理も通常業務の延長線にあります。



No. 2 歯学部 教授 越野 寿

令和6年能登半島地震に際し、北海道JDATメンバーとして、北海道歯科医師会の先生方とともに活動して来ましたので概要を報告いたします。

2月18日に小松空港に到着し、宿舎にて物資の準備と事前ミーティングを行いました。2月19日は、9時45分に宮本歯科医院(能登町)に到着し、宮本先生に現地の状況と支援活動内容の説明を受けました。現地での活動は2月19、20日の2日間で、避難所4か所を訪問し、口腔衛生物資の確認と補充、被災者口腔衛生指導や口腔アセスメントを行いました。

依頼された任務を終え、能登役場のDHART(災害時健康危機管理支援チーム)にて活動報告を行い、翌日に帰路につきました。なお、徳島県歯からのチームは本学8期卒業の日下 淳先生(写真中央右)が参加されていました。

最後になりましたが、一日も早い復興をご祈念いたします。



今回の報告以外にも、本学薬学部の櫻田講師や複数の同窓生も避難所支援等で派遣されました。罹災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。